



# ロベルト酒井の 南十字の 空から

平成 25 年度 ブラジル通信

No.15 12 月 2 日～12 月 6 日

(平成 25 年度最終号)

発行者 豊橋市教育委員会

酒井 憲一

## 日本の学校の避難訓練を紹介

本通信 2 号と 3 号に掲載した「日本の学校の避難訓練」について説明会および質問会を行いました。(パラナ州教育局から依頼)

説明会には、教育関係者の他に、警察署や消防署の方々、州の防災危機管理課の方、また民間の消防士で、学校だけでなく、企業、サッカー場などでインストラクターとして勤務する方も出席されました。

私から避難訓練の概要について説明した後、質問会に移りました。主な質問内容は以下のとおりです。最終的には、防災危機管理課の方が「迅速かつ安全に避難するためには、日本の教育の『整列』の習慣をブラジルの子どもたちに身につけさせなければならない。整列などの規律こそ学習の基本であり、ブラジルの国旗にも『規律』と明記されている。今こそ日本の教育を学ぶべきだ。」と出席者に呼びかけていました。日本の教育のよい面を理解していただき、説明会は成功したと感じました。

なお、避難訓練の資料を提供していただいた岩田小学校に感謝申し上げます。



避難訓練の質問会

### おもな質問内容

- ・避難完了時間
- ・校舎内の避難の様子
- ・休憩時間の避難
- ・担任以外の教員の役割
- ・防災ずきん

### クリチバ日本総領事館主催昼食会

内山総領事に帰国のあいさつに伺おうとしたところ、「一緒に昼食をしましょう」ということになりました。本通信 1 号でも紹介しましたが、内山総領事の「おもてなし」と事業への協力に深く感謝申し上げます。



内山総領事 (右側中央)

## 特色ある学校の視察

### 先住民族インディオの村の学校訪問

南米の先住民族「インディオ」が住む村の学校を訪問しました。その村には 20 世帯ほどが住み、小中学校合わせて 30 名の子どもが学んでいました。

平屋の校舎に 3 教室と事務室があるだけで、その他運動施設はありません。

しかしインディオの言葉や文化を学習するカリキュラムを取り入れるなど、伝統を重んじながら現代教育を展開する姿勢に感銘しました。



校舎の前で校長と握手

その他、「刑務所の中の学校」も訪問しました。撮影禁止のため写真がありませんので、説明のみです。

教える人は現役の教員です。教員から希望者を募って運営しています。ちなみに教卓と生徒の間には鉄格子があるという刑務所らしい教室でした。

## パラナ州教育局長フラビオ氏に帰国あいさつ

帰国に際し、パラナ州教育局長フラビオ氏にあいさつおよび事業報告をしました。局長からは『帰国者支援システム』は重要な事業なので、州内全大学と連携して進める」と確約を得ることができました。フラビオ局長にも深く感謝申し上げます。



フラビオ氏と教育局の方々

### クリチバにおけるミッションの総括

- パラナ州教育局、ABD（出稼ぎ協会）、パラナ連邦大学（日本語コース）の3者による帰国児童生徒の教育支援体制の確立
  - 本通信14号で紹介したとおり、今後の方針が決定。
  - 局長より州内全大学との連携を進める確約を得る。
- ◎帰国児童生徒の実態把握のためのアンケートの実施
  - 州内の全教育事務所に依頼し、集計結果がまとまる。

### ミッション以外の成果

#### ☆日本の一部制の紹介

- ・始業開始や休憩などの時間の違いや効果について意見交換できた。

#### ☆日本の避難訓練について説明

- ・学習規律の必要性について理解していただいた。
- ・警察署の「学校パトロール隊」の方々と意見交換。

## ブラジル派遣を振り返って～人と人のつながり～

初めて訪れる異国の地で、知り合いもない私が3ヶ月の派遣を無事に終え、ミッションを遂行できたのは、ひとえに「人と人のつながり」です。クリチバ日本総領事館の内山総領事。ロンドリーナの「めぐみ学園」の酒井校長とご家族。マリンガの駒込会長はじめ役員の方々。植田さんやヤマカワ前市長。そして、州教育事務所のスラムッタさん。前任の宮本教諭とホージネイデさんとの強い絆。正確な通訳とよきアドバイザーであった坂本さんとマリウザさん。その他、紹介しきれないぐらい多くの方々にお世話になり、深く感謝申し上げます。

当たり前のことですが、どんな仕事も一人ではできず、多くの方々との結びつきによって成し遂げられること。そして、人と人のつながりは、仕事の建前論でつながるのではなく、謙虚さや思いやり、譲り合いの心、時にはユーモアを交えて信頼関係が築かれていくことも、あらためて実感しました。最後に、遠く日本より支援していただいた皆様に深く感謝申し上げます。

### □ベルト酒井の「こんな時どうスルー？」

前号の答えは①です。ブラジルの方は派手好きなので、②のように地味な服を着ていると目立ちます。③ですが、パラナヴァイのように暑いところでは、ほとんどの人たちがビーチサンダルを履いていて、市役所の人まで履いて仕事をしています。クリチバは涼しいので履いている人はあまりいませんが、ビーチサンダルのお土産はブラジル中どこでもあります。私は足の親指の付け根が痛くなるので履きませんでした。

それでは最終問題、第15問。私は現地時間12月6日の夜（日本時間12月7日早朝）にクリチバを出発し、12月8日午後日本に到着します。私は何に乗って帰国するでしょう。

- ① 飛行機      ② 豪華客船      ③ 自転車      答えは次号で！・・・次号があるの？

稚拙な内容ではありましたが、本通信をお読みいただき、誠にありがとうございました。